

2019年

国民、県民の声が届く政治へ

変革の年に

山口律子

高瀬菜穂子



日本共産党

県議会 12月定例会・一般質問



築城基地の「米軍普天間基地化」、福岡空港の軍事使用許すな！

高瀬菜穂子

「有事の基地使用」認める

2007年に九州防衛局と、福岡県、行橋市、築城町、みやこ町の間で「緊急時使用」の対応について、「その内容が分かり次第、速やかに地元で説明する」との協定が結ばれています。高瀬議員が「緊急時」とはどういう事態かと説明を求めると、九州防衛局からの説明として、知事は「わが国が武力攻撃を受けた場合も該当」と、有事の使用を認めました。

高瀬議員は、全国知事会が求めている「日米地位協定」の抜本見直しが行われない限り、築城基地の機能強化は認められないと防衛省

に要求せよと知事を追及。また米国防総省が「有事の際に作戦拠点として機能を強化したい」とする福岡空港について、米軍利用・軍事拠点化を許さない立場から、全面返還を強く求めよと迫りました。

知事の「無責任姿勢」を厳しく批判

知事は日米地位協定について、全国知事会として「見直し」を求めているとしつつ、築城基地の機能強化は「国において判断されるべきもの」、福岡空港に関して「国においては対応されるべきもの」と無責任な答弁をくり返しました。

高瀬議員は「国において…」とくり返す知事の姿勢を厳しく批判。まともに説明しようしない防衛省に対して質問さえしない態度に、「これでは県民の安全は守れない」と断じた上で、「憲法の上に日米地位協定あり、国会の上に日米合同委員会がある」と言われる現状において、出撃拠点にされようとしている福岡県に、機敏に対応する部署がないことを指摘し新設することを強く要望しました。

日米合同委員会は10月24日、航空自衛隊築城基地の滑走路300メートルの延長、弾薬庫、米兵宿泊所、燃料タンクなどの施設整備を行う計画を突如発表しました。「日米再編ロードマップ」に沿った、米軍普天間基地の緊急時の「代替基地」としての機能移転です。

高瀬議員は、12月議会一般質問で、九州防衛局から聞き取った、オスプレイを含む普天間基地で運用されているあらゆる機種の航空機の飛来が想定されていることを突きつけ、騒音や事故の影響についての認識を問うとともに、「核の貯蔵」を否定できない嘉手納弾薬庫の機能を移転することの見解を知事に質しました。

知事は「渉外関係主要都道府県知事連絡会議」として騒音軽減、飛行運用の制限など、「日米地位協定の改定を求めている」と述べる一方で、「基地の運用は国において適切に対応されるべきもの」と答弁しました。



日米合同訓練に抗議（10月29日築城基地前）

検索

<http://www.jcp-fkengidan.jp>

日本共産党福岡県議会議員団 福岡市博多区東公園7-7 議会棟3階

☎：092 (643) 3809 FAX：092 (641) 5160